

平成 27 年度  
事業報告書

I 事業報告

II 決算報告

自 平成 27 年 4 月 1 日

至 平成 28 年 3 月 31 日

公益財団法人 国際科学技術財団

平成27年度

I 事業報告

自 平成 27年 4月 1日

至 平成 28年 3月 31日

公益財団法人 国際科学技術財団

## < 概 況 >

平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日までの期間において平成 27 年度事業計画に沿って適切に財団行事を実施、運営しました。

まず、2015 年（第 31 回）日本国際賞授賞式ならびに祝宴を中心とした日本国際賞週間行事を実施し、一方で 2016 年（第 32 回）日本国際賞受賞者の審査を進めました。更に 2017 年（第 33 回）日本国際賞授賞対象分野の決定をし、研究助成事業及び啓発事業についても適切に実施しました。

### 1. 顕彰事業（公益目的事業）

2015 年（第 31 回）日本国際賞授賞式を 4 月 23 日、国立劇場において、天皇皇后両陛下ご臨席のもと来賓多数を招待して挙行了しました。

次に「日本国際賞審査委員会」及び授賞対象分野毎の「審査部会」において、世界各地の推薦人より受けた受賞候補推薦 292 件について審査を行い、「物質、材料、生産」分野から 1 名、「生物生産、生命環境」分野から 1 名の受賞候補者を選定し、11 月 5 日開催の理事会において 2016 年（第 32 回）日本国際賞受賞者を決定し、平成 28 年 1 月 26 日に受賞者発表記者会見を行いました。

また「日本国際賞分野検討委員会」における審議の結果、2017 年の授賞対象分野を「エレクトロニクス、情報、通信」及び「生命科学」と決定し、広く周知しました。

### 2. 研究助成事業（公益目的事業）

日本国際賞の意義をさらに高めることを目的に 2016（第 32 回）日本国際賞授賞対象分野と同じ分野で研究する 35 歳以下の若手科学者を対象として募集を行いました。その後「研究助成選考委員会」において厳正かつ慎重に選考を行い「物質、材料、生産」分野で 10 名、「生物生産、生命環境」分野で 10 名及び「クリーン&サステイナブルエネルギー」分野から 3 名の合計 23 名を 2016 年研究助成対象者として決定いたしました。

（尚、贈呈式は日本国際賞週間行事期間中の平成 28 年 4 月 19 日に実施し、研究者間の一層の交流の場を設けました。）

### 3. 科学技術啓発事業（公益目的事業）

学生から一般の方々を対象に科学技術に関する知識を深めていただくことを目的として「やさしい科学技術セミナー」を本年度は 18 回開催し、全ての回で財団から研究助成を受けた若手科学者を講師として招き、それぞれの所属研究機関や研究フィールドで開催しました。

### 4. 広報活動

2016 年（第 32 回）日本国際賞受賞者発表記者会見や 2017 年（第 33 回）日本国際賞授賞対象分野の対外発表の機会をとらえて、国内外のメディアを中心に積極的な広報活動を展開し、日本国際賞の意義と財団の事業活動についての発信を行いました。

さらに今年は、記者に授賞業績をより深く理解してもらうために、記者発表前に事前レクチャーを実施し、業績内容を分かりやすい記事としてもらいました。

また、やさしい科学技術セミナーの開催に合わせてローカル媒体の積極的な掘り起こしも行いました。

### 5. 管理部門

金融・債券運用環境の厳しい状況下にあって、適切な事業計画の立案、検討を行い、運営を実施して参りました。結果、収支状況は前年度より大幅に改善されたものの赤字で終了いたしました。

## < 事業活動 >

### 1. 顕彰事業

#### (1) 2015年(第31回)日本国際賞週間行事の実施

4月23日、国立劇場において天皇陛下ご臨席のもと来賓多数を招待して、2015年(第31回)日本国際賞授賞式を挙りました。

受賞者は高橋裕博士(資源、エネルギー、社会基盤分野)、セオドア・フリードマン博士及びアラン・フィッシャー博士(医学、薬学分野)でした。

この授賞式を中心として4月20日から4月25日までを日本国際賞週間として、各種行事を実施しました。

#### (2) 2016年(第32回)日本国際賞受賞候補者の審査と決定

財団内に設けられた「分野検討委員会」が決定する授賞対象分野での受賞候補者を財団に登録された世界13,000人以上の推薦人(著名な学者・研究者)にジャパンプライズWEB推薦システム(JPNS: Japan Prize Nomination System)を通じて推薦を求め、292件の推薦が寄せられました。

科学技術面での卓越性を専門的に審査する「審査部会」(物質、材料、生産分野10名、生物生産、生命環境分野11名、合計21名)により厳選された候補者は「日本国際賞審査委員会」(委員10名)に答申され、さらに社会への貢献度等総合的な審査の後、受賞候補者が選出されました。

11月5日開催の理事会において審査委員会から推挙された日本国際賞受賞候補者2名を最終決定しました。

平成28年1月26日に細野博士とタンクスリー博士の出席のもと受賞者発表記者会見を実施しました。

#### ◆ 「物質、材料、生産」分野

授賞業績 「ナノ構造を活用した画期的な無機電子機能物質・材料の創製」

受賞者 細野 秀雄博士 (日本)

#### ◆ 「生物生産、生命環境」分野

授賞業績 「ゲノム解析手法の開発を通じた近代作物育種への貢献」

受賞者 スティーブン・タンクスリー博士 (米国)

◆ 2016年（第32回）日本国際賞審査委員会及び審査部会委員

委員会名	氏名	勤務先・職名
審査委員会		
委員長	小宮山 宏	株式会社三菱総合研究所理事長 東京大学第28代総長
副委員長	永井 良三	自治医科大学学長
委員	苅田 吉夫	公益財団法人国際科学技術財団理事
〃	谷口 維紹	東京大学生産技術研究所特任教授
〃	西尾 章治郎	大阪大学総長
〃	林 良博	独立行政法人国立科学博物館館長
〃	藤吉 好則	名古屋大学大学院創薬科学研究科特任教授
〃	松下 正幸	公益財団法人国際科学技術財団理事
〃	松本 洋一郎	国立研究開発法人理化学研究所理事
〃	三島 良直	東京工業大学学長
「物質、材料、生産」分野		
部会長	三島 良直	東京工業大学学長
部会長代理	石原 一彦	東京大学大学院工学系研究科教授
委員	川崎 雅司	東京大学大学院工学系研究科教授
〃	岸本 喜久雄	東京工業大学環境・社会理工学院長
〃	黒田 一幸	早稲田大学理工学術院教授
〃	高田 十志和	東京工業大学物質理工学院教授
〃	常行 真司	東京大学大学院理学系研究科教授
〃	寺田 眞浩	東北大学大学院理学研究科教授
〃	長井 寿	国立研究開発法人物質・材料研究機構 構造材料研究拠点特命研究員
〃	丸山 茂夫	東京大学大学院工学系研究科教授 国立研究開発法人産業技術総合研究所 エネルギー・環境領域 クロスアポイントメントフェロー
「生物生産、生命環境」分野		
部会長	林 良博	独立行政法人国立科学博物館館長
部会長代理	白山 義久	国立研究開発法人海洋研究開発機構研究担当事務
委員	加藤 真	京都大学大学院人間・環境学研究科教授
〃	門脇 光一	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 生物機能利用研究部門 研究部門長
〃	嶋田 透	東京大学大学院農学生命科学研究科教授
〃	難波 成任	東京大学大学院農学生命科学研究科教授

(続き)

「生物生産、生命環境」分野		
委員	野口 伸	北海道大学大学院農学研究院教授
〃	藤原 徹	東京大学大学院農学生命科学研究科教授
〃	細矢 剛	独立行政法人国立科学博物館 植物研究部 グループ長
〃	前多 敬一郎	東京大学大学院農学生命科学研究科教授
〃	湯本 貴和	京都大学霊長類研究所所長

(平成 28 年 4 月現在)

(3) 2017 年 (第 33 回) 日本国際賞授賞対象分野の検討と発表

白井克彦氏を委員長とする「2017 年 (第 33 回) 日本国際賞分野検討委員会」(委員 11 名) は 2017 年 (第 33 回) 日本国際賞の授賞対象分野とそれぞれの定義文を策定。平成 27 年 11 月 5 日の理事会での承認を得て、同年 11 月 10 日に発表しました。

◆ 2017 年 (第 33 回) 日本国際賞授賞対象分野

➤ 「エレクトロニクス、情報、通信」分野及び「生命科学」分野

◆ 2017 年 (第 33 回) 日本国際賞分野検討委員会委員

分野検討委員会	氏 名	勤 務 先 ・ 職 名
委 員 長	白井 克彦	放送大学学園理事長
副 委 員 長	宮園 浩平	東京大学大学院医学系研究科分子病理学教授
委 員	磯部 雅彦	高知工科大学学長
	大隅 典子	東北大学大学院医学系研究科 脳神経科学コアセンターセンター長
〃	桑原 洋	日立マクセル株式会社名誉相談役
〃	柴崎 正勝	公益財団法人微生物化学研究会理事長 微生物化学研究所所長
〃	辻 篤子	朝日新聞東京本社才ピニオン編集部記者 東京大学大学院総合文化研究科客員教授
	中静 透	東北大学大学院生命科学研究科 生態システム生命科学専攻教授
	橋本 和仁	国立研究開発法人物質・材料研究機構理事長
	古谷 研	東京大学大学院農学生命科学研究科 水圏生物学専攻教授
	森 健一	T D K 株式会社元取締役

(平成 28 年 4 月現在)

(3) ジャパンプライズ WEB 推薦システム (JPNS) の活用

平成 22 年度より導入したジャパンプライズ WEB 推薦システム (JPNS) で、2017 年 (第 33 回) 日本国際賞受賞候補者の推薦情報 (受賞候補者、推薦理由、参考文献等) の的確な収集とデータベース化を行いました。

また、郵便発送が無くなり、効率化が図られました。

◆ 2017 年 (第 33 回) 日本国際賞受賞候補者推薦依頼と推薦受理状況

項 目	JPNS	郵便	合計件数
推薦人への推薦依頼発信件数	13,041 件	0 件	13,041 件
推薦人からの推薦書受理件数	301 件	0 件	247 件*

(\* この他、2014 年の審査で次回への繰越対象となった 28 件を加え、2017 年の推薦総数は 329 件)

## 2. 研究助成事業

(1) 2016 年研究助成

「2016 年研究助成選考委員会」(合計 13 名) を設置し、応募総数 104 件について選考の結果、下記 23 名の研究助成対象者を決定しました。

◆ 2016 年研究助成対象者

氏 名	勤 務 先 ・ 職 名
「物質、材料、生産」分野	
岩崎 真之	岡山大学大学院自然科学研究科地球生命物質科学専攻助教
覚知 亮平	金沢大学理工研究域自然システム学系特任助教
藏重 亘	東京理科大学理学部助教
黒田 義之	早稲田大学高等研究所助教
後関 頼太	東京工業大学大学院理工学研究科有機・高分子物質専攻助教
武田 洋平	大阪大学大学院工学研究科応用化学専攻准教授
田原 正樹	東京工業大学精密工学研究所助教
夏井 俊悟	北海道大学大学院工学研究院材料科学部門助教
信川 省吾	名古屋工業大学大学院工学研究科物質工学専攻助教
平野 圭一	東京大学大学院薬学系研究科薬科学専攻助教
「生物生産、生命環境」分野	
伊東 啓	静岡大学創造科学技術大学院環境・エネルギーシステム専攻 JSPS 特別研究員
上原 拓也	農業生物資源研究所昆虫科学研究領域任期付研究員
後藤 栄治	九州大学大学院農学研究院環境農学部門助教



(続き)

「生物生産、生命環境」分野	
阪本 鷹行	徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部助教
佐々木 和浩	東京大学大学院農学生命科学研究科 附属生態調和農学機構 助教
柴田 誠	京都大学アフリカ地域研究資料センター研究員
鈴木 紀之	立正大学地球環境科学部助教
仲田 麻奈	名古屋大学高等研究院特任助教
増田 幸子	東京農工大学大学院農学研究院国際農学環境部門 産学官連携研究員
宮川 一志	宇都宮大学バイオサイエンス教育研究センター准教授
「クリーン&サステナブルエネルギー」分野	
奥村 真彦	仙台高等専門学校機械システム工学科助教
上川 由紀子	産業技術総合研究所太陽光発電研究センター研究員
野地 智康	大阪市立大学複合先端研究機構特任講師

(平成 28 年 3 月現在)

## ◆ 2016 年研究助成選考委員会委員

	氏 名	勤 務 先 ・ 職 名
「物質、材料、生産」分野		
選考委員長	細田 秀樹	東京工業大学精密工学研究所教授
選考委員	阿部 弘亨	東京大学大学院工学系研究科原子力専攻 (兼担) 原子力国際専攻教授
〃	扇澤 敏明	東京工業大学大学院理工学研究科物質科学専攻 教授
〃	折茂 慎一	東北大学原子分子材料科学高等研究機構教授
〃	目 義雄	国立研究開発法人物質・材料研究機構 先端材料プロセスユニット長
「生物生産、生命環境」分野		
選考委員長	白山 義久	国立開発研究法人海洋研究開発機構研究担当理事
選考委員	安東 郁男	国立開発研究法人農業・食品産業技術総合研究機構 作物研究所稲研究領域長
〃	江頭 祐嘉合	千葉大学大学院園芸学研究科教授
〃	金子 信博	横浜国立大学大学院環境情報研究院教授
〃	中山 裕之	東京大学大学院農学生命科学研究科教授

「クリーン&サステイナブルエネルギー」分野		
選考委員長	花木 啓祐	東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻教授
選考委員	荻本 和彦	東京大学生産技術研究所 エネルギー工学連携研究センター特任教授
〃	黒川 浩助	東京工業大学ソリューション研究機構 AES国際研究センター 特任教授

(平成 28 年 3 月現在)

- (2) 「研究助成ブログ」の積極活用と「やさしい科学技術セミナー」運営  
 研究助成を贈呈した若手研究者を対象に、各自の研究成果発表及び相互交流の場として平成 20 年より開設している「研究助成ブログ」の積極活用のための仕組み作りを行いました。助成金受領後は研究の中間報告及び最終報告をブログ上で行い、同じ研究分野の科学者同士のコミュニケーションの場となっております。  
 また研究助成を受けられた若手研究者を講師とした「やさしい科学技術セミナー」を各々の所属研究機関で 18 回開催しました。

### 3. 科学技術啓発事業

- (1) やさしい科学技術セミナーの開催  
 広く一般の方を対象として科学技術に関する知識の啓発を目的として実施している「やさしい科学技術セミナー」を 18 回開催（第 253 回～第 270 回）しました。

◆ やさしい科学技術セミナー開催状況（\* 印は研究助成を受けられた若手研究者）

開催回	開催日・場所・テーマ・講師	
第 253 回	開催日・場所	2015 年 7 月 18 日 理化学研究所(神戸)2 階大会議室
	テ ー マ	PET って何? ～先端医療を支える触媒化学～
	講 師	隅田 有人* 理化学研究所ライフサイエンス技術 基盤研究センター研究員
第 254 回	開催日・場所	2015 年 7 月 25 日 東京学芸大学北講義棟 N313 教室
	テ ー マ	美しく魅惑的な構造をもった分子の世界
	講 師	山田 道夫* 東京学芸大学 教育学部自然科学系 分子化学分野准教授
第 255 回	開催日・場所	2015 年 8 月 5 日 パナソニックセンター東京
	テ ー マ	えっ?! こんなところに放射線!!
	講 師	中村 秀仁 京都大学原子炉実験所助教
第 256 回	開催日・場所	2015 年 8 月 19 日 東京大学理学部 1 号館
	テ ー マ	体内時計って何? ～毎日繰り返すリズムの仕組み～
	講 師	吉種 光* 東京大学大学院理学系研究科助教

(続き)

第 257 回	開催日・場所	2015 年 8 月 24 日 筑波大学 3G 棟 317 室
	テ ー マ	触って感じておもしろ半導体！
	講 師	都甲 薫 * 筑波大学数理物質系理工工学域助教
第 258 回	開催日・場所	2015 年 9 月 2 日 東北大学原子分子材料科学高等研究機構
	テ ー マ	ナノ多孔質金の表面構造～ナノの世界を覗いてみよ～
	講 師	伊藤 良一 * 東北大学原子分子材料科学高等研究機構助教
第 259 回	開催日・場所	2015 年 9 月 3 日 岩手県立一関第一高等学校
	テ ー マ	脳科学と薬学の最先端
	講 師	佐々木 拓哉 * 東京大学大学院薬学系研究科助教
第 260 回	開催日・場所	2015 年 10 月 6 日 九州工業大学未来型インタラクティブ教育棟インタラクティブ学習室
	テ ー マ	「物質」を「先端材料」に ～材料開発で超伝導を使いこなす～
	講 師	堀出 朋哉 * 九州工業大学大学院工学研究院助教
第 261 回	開催日・場所	2015 年 10 月 10 日 東北大学青葉山キャンパス理学部合同 C 棟 1 階
	テ ー マ	化学と生物学をつなぐ「光る分子」の体験セミナー
	講 師	高岡 洋輔 * 東北大学大学院理学研究科講師
第 262 回	開催日・場所	2015 年 10 月 10 日 島根大学総合理工学部 1 号館
	テ ー マ	金属錯体の世界 ～色と反応と機能性の化学～
	講 師	片岡 祐介 * 島根大学大学院 総合理工学研究科助教
第 263 回	開催日・場所	2015 年 10 月 24 日 大阪大学微生物病研究所
	テ ー マ	血管研究が切りひらく、未来の疾患治療 ～いろいろな血管を観察してみよう～
	講 師	木戸屋 浩康 * 大阪大学微生物病研究所情報伝達分野助教
第 264 回	開催日・場所	2015 年 10 月 31 日 京都大学宇治キャンパス生存圏研究所 木質ホール
	テ ー マ	きのこに学ぶ木の食べ方
	講 師	西村 裕志 * 京都大学生存圏研究所 生存圏診断統御研究系助教
第 265 回	開催日・場所	2015 年 11 月 14 日 自治医科大学医学部教育研究棟セミナー室
	テ ー マ	動物の内部を光でのぞいてみよう ～最先端顕微鏡でみる生命の本当の姿～
	講 師	瀬尾 欣也 * 自治医科大学分子病態治療研究センター 分子病態研究部助教

(続き)

第 266 回	開催日・場所	2015 年 11 月 29 日 高知大学理学部付属水熱化学実験所 2F セミナー室
	テ ー マ	藻が地球を救う？ ～藻類バイオマスの利用の最前線～
	講 師	椿 俊太郎* 東京工業大学理工学研究科助教
第 267 回	開催日・場所	2015 年 12 月 14 日 学校法人近江育英会・ 近江高等学校体育館
	テ ー マ	「エネルギー」について学ぼう
	講 師	片山 昇* 東京理科大学 理工学部電気電子情報工学科助教
第 268 回	開催日・場所	2015 年 12 月 15 日 兵庫県立姫路飾西高等学校 管理普通教室棟 3 階セミナールーム
	テ ー マ	パワーエレクトロニクスに支えられる電池と太陽電池
	講 師	鶴野 将年* 茨城大学 工学部電気電子工学科准教授
第 269 回	開催日・場所	2016 年 2 月 28 日 信州大学上田キャンパス講義棟
	テ ー マ	高分子化学が拓く驚異の高機能材料 ～プラスチック・繊維・ゴムの最先端～
	講 師	高坂 泰弘* 信州大学繊維学部テニユアトラック助教
第 270 回	開催日・場所	2016 年 3 月 12 日 久留米大学附設高等学校
	テ ー マ	“がん”とは何か ～マクロとミクロの視点から“がん”に迫る～
	講 師	岸川 孝弘* 東京大学 医学部附属病院消化器内科 特任臨床医

(平成 28 年 4 月現在)

## (2) ストックホルム国際青年科学セミナー (SIYSS) への学生派遣

スウェーデン青年科学者連盟からの要請を受け、同連盟がノーベル財団の協力を得て主催している「ストックホルム国際青年科学セミナー (SIYSS)」に昭和 62 年以来毎年 2 名の学生を派遣しており、平成 28 年については東京工業大学の大橋匠氏、及び北海道大学の笹森瞳氏の 2 名を派遣しました。両氏は 12 月 4 日から 1 週間ストックホルムに滞在し、自身の研究発表の後、ノーベル賞授賞式及び晩餐会、その他関連行事に出席し、世界各国から選抜された優秀な若手参加者との交流を深めました。

## 4. 広報活動

### (1) 日本国際賞受賞者発表記者会見開催

平成 28 年 1 月 26 日に、アークヒルズクラブにおいて「2016 年（第 32 回）日本国際賞受賞者発表記者会見」を開催しました。例年通り受賞者を招聘し（2 名の受賞者が出席）、国内・国外のプレス関係者（26 媒体、35 名）を対象に審査の経緯、授賞業績、授賞理由を発表。併せて日本国際賞の意義と目的を発信しました。記者発表会に続いて受賞者への個別取材（国内媒体 10 社）を実施し、またプレスリリース及び関連資料についても内容を充実させるとともにすべての資料及び画像データを財団のホームページで公開する等、情報発信の質と量を高めたことにより、多くのメディアに取り上げられました。

（掲載件数：国内媒体 217 件、海外媒体 63 件）。

### (2) 事前レクチャーの実施

1 月 22 日の受賞者発表記者会見に先立ち、一部のメディアに対して 1)業績をより深く理解してもらうことにより、記事が大きく、分かりやすいものになり、認知度向上に効果が期待、2)本番の記者会見において受賞者に対し、より適確・有意義な質問が出る、3)審査部会として訴求したポイントについてもより詳しく説明ができる等を勘案して授賞業績の事前レクチャーを実施した。

### (3) 雑誌への告知広告掲載

日本国際賞及び財団活動について認知度をグローバルに高めることを目的として科学専門誌の「Science」、「Nature」、「日経サイエンス」に告知広告を掲載し、また、「学術の動向」にも広告掲載し、関係学会へのアピールも強化しました。

## 5. 管理部門

### (1) 評議員会及び理事会の開催

平成 27 年度（平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月）において、下記の評議員会及び理事会を開催しました。

#### ◆ 評議員会開催状況

開催回	開催日及び場所、審議の結果
第 11 回 評議員会	2015 年 6 月 11 日 アークヒルズクラブ「クラブルーム A」
	1. 平成 26 年度事業報告案承認の件 2. 平成 26 年度決算報告案承認の件 3. 任期満了に伴う理事選任の件 4. 公益財団法人国際科学技術財団定款の変更承認の件
第 12 回 評議員会	2015 年 6 月 26 日 書面決議（評議員全員の同意書による）
	1. 平成 26 年度事業報告案承認の件 承認 2. 平成 26 年度決算報告案承認の件 承認 3. 任期満了に伴う理事選任の件 承認 4. 公益財団法人国際科学技術財団定款の変更承認の件 承認

#### ◆ 理事会開催状況

開催回	開催日及び場所、議案及び議決の結果
第 22 回 理事会	2015 年 6 月 11 日 アークヒルズクラブ「クラブルーム A」
	1. 平成 26 年度事業報告案承認の件 承認 2. 平成 26 年度決算報告案承認の件 承認 3. 事業報告等に係る提出書類についての承認の件 承認 4. 保有する株式に係る決議権の行使承認の件 承認 5. 評議員へ提出する理事候補者承認の件 承認 6. 評議員会の日時及び場所並びに目的である事項承認の件 承認 7. 専務理事の選任の件（書面決議）
第 23 回 理事会	2015 年 6 月 26 日 書面決議（評議員全員の同意書による）
	1. 専務理事の選任の件 承認
第 24 回 理事会	2015 年 11 月 5 日 アークヒルズクラブ「クラブルーム A」
	1. 2016 年(第 32 回)日本国際賞受賞候補者承認の件 承認 2. 2017 年(第 33 回)日本国際賞授賞対象分野承認の件 承認 3. 2016 年研究助成選考委員会委員承認の件 承認

(続き)

第 25 回 理事会	2016 年 3 月 8 日 国際科学技術財団「会議室」	
	1. 平成 28 年度事業計画承認の件	承認
	2. 2016 年研究助成対象者承認の件	承認
	3. 日本国際賞顕彰事業規程の変更承認の件	承認
	4. 次期(2018 年～2020 年)日本国際賞分野検討委員会委員承認の件	承認

(2) 2016 年（第 32 回）授賞式及び祝宴会場

授賞式会場を東京国際フォーラム、祝宴会場を帝国ホテル東京で開催した。

祝宴会場は 2009 年以來の開催となるので、例年以上の徹底した事前確認とリハーサルを実施。

<附属明細書の作成について>

上記の事業報告に関して、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に規定されている附属明細書によりその内容を補足すべき重要な事項はありませんので附属明細書は作成しておりません。

平成 28 年 6 月 9 日

公益財団法人 国際科学技術財団

平成27年度

Ⅱ 決算報告書

自 平成 27年 4月 1日

至 平成 28年 3月 31日

公益財団法人 国際科学技術財団



# 平成27年度 貸借対照表

(平成28年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
<b>【Ⅰ】資産の部</b>				
現金預金	170,996,605	175,595,635	-4,599,030	
前払金	3,213,334	8,603,978	-5,390,644	
流動資産合計	<b>174,209,939</b>	<b>184,199,613</b>	<b>-9,989,674</b>	
普通預金	16,895,037	16,895,037	+0	
定期預金	100,000,000	100,000,000	+0	
投資有価証券	14,106,470,530	19,764,257,810	-5,657,787,280	
基本財産合計	<b>14,223,365,567</b>	<b>19,881,152,847</b>	<b>-5,657,787,280</b>	
賞金基金普通預金	5,673,000	405,673,000	-400,000,000	
賞金基金有価証券	1,722,447,000	1,492,980,000	+229,467,000	
退職給付引当資産	63,163,680	59,733,680	+3,430,000	
特定資産合計	<b>1,791,283,680</b>	<b>1,958,386,680</b>	<b>-167,103,000</b>	
建物付属設備	5,284,909	5,750,864	-465,955	
什器備品	949,317	1,365,149	-415,832	
ソフトウェア	688,048	811,594	-123,546	
電話加入権	459,300	459,300	+0	
敷金	16,179,340	14,588,800	+1,590,540	
その他固定資産計	<b>23,560,914</b>	<b>22,975,707</b>	<b>+585,207</b>	
固定資産合計	<b>16,038,210,161</b>	<b>21,862,515,234</b>	<b>-5,824,305,073</b>	
資産合計	<b>16,212,420,100</b>	<b>22,046,714,847</b>	<b>-5,834,294,747</b>	

## 【Ⅱ】負債の部

未払金	107,771,221	103,852,694	+3,918,527	
預り金	1,052,981	1,131,100	-78,119	
賞与引当金	5,340,000	5,239,000	+101,000	
流動負債合計	<b>114,164,202</b>	<b>110,222,794</b>	<b>+3,941,408</b>	
退職給付引当金	63,163,680	59,733,680	+3,430,000	
固定負債合計	<b>63,163,680</b>	<b>59,733,680</b>	<b>+3,430,000</b>	
負債合計	<b>177,327,882</b>	<b>169,956,474</b>	<b>+7,371,408</b>	

## 【Ⅲ】正味財産の部

寄附金	13,617,638,955	19,259,282,035	-5,641,643,080	
指定正味財産合計	<b>13,617,638,955</b>	<b>19,259,282,035</b>	<b>-5,641,643,080</b>	
〔基本財産への充当額〕	13,617,638,955	19,259,282,035	-5,641,643,080	
一般正味財産合計	<b>2,417,453,263</b>	<b>2,617,476,338</b>	<b>-200,023,075</b>	
〔基本財産への充当額〕	605,726,612	621,870,812	-16,144,200	
〔特定資産への充当額〕	1,728,120,000	1,898,653,000	-170,533,000	
正味財産合計	<b>16,035,092,218</b>	<b>21,876,758,373</b>	<b>-5,841,666,155</b>	
負債及び正味財産合計	<b>16,212,420,100</b>	<b>22,046,714,847</b>	<b>-5,834,294,747</b>	

# 平成27年度 正味財産増減計算書

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
<b>【Ⅰ】一般正味財産増減の部</b>				
<b>(1) 経常増減の部</b>				
基本財産受取利息	81,142,168	81,281,793	-139,625	
基本財産受取配当金	210,000,000	168,000,000	+42,000,000	
基本財産運用益	291,142,168	249,281,793	+41,860,375	
特定資産受取利息	63,306,831	77,781,204	-14,474,373	
特定資産運用益	63,306,831	77,781,204	-14,474,373	
受取寄附金	26,303,027	25,804,030	+498,997	
流動資産受取利息	21,308	24,114	-2,806	
その他収益	3,704	0	+3,704	
雑収益	25,012	24,114	+898	
経常収益計	<b>380,777,038</b>	<b>352,891,141</b>	<b>+27,885,897</b>	
事業費	372,655,808	360,358,620	+12,297,188	
管理費	21,467,105	22,984,829	-1,517,724	
経常費用計	<b>394,122,913</b>	<b>383,343,449</b>	<b>+10,779,464</b>	
評価損益等調整前当期経常増減額	<b>-13,345,875</b>	<b>-30,452,308</b>	<b>+17,106,433</b>	
基本財産評価損益	-16,144,200	94,370,600	-110,514,800	
特定資産評価損益	-171,033,000	101,000,000	-272,033,000	
基本財産売却損益	0	140,000	-140,000	
特定資産売却損益	500,000	38,790,000	-38,290,000	
評価損益等計	-186,677,200	234,300,600	-420,977,800	
当期経常増減額	<b>-200,023,075</b>	<b>203,848,292</b>	<b>-403,871,367</b>	
<b>(2) 経常外増減の部</b>				
経常外収益計	0	0	+0	
固定資産除却損		2,864	-2,864	
経常外費用計	0	2,864	-2,864	
当期経常外増減額	<b>0</b>	<b>-2,864</b>	<b>+2,864</b>	
当期一般正味財産増減額	<b>-200,023,075</b>	<b>203,845,428</b>	<b>-403,868,503</b>	
一般正味財産期首残高	2,617,476,338	2,413,630,910	+203,845,428	
一般正味財産期末残高	<b>2,417,453,263</b>	<b>2,617,476,338</b>	<b>-200,023,075</b>	
<b>【Ⅱ】指定正味財産増減の部</b>				
基本財産評価損益	-5,641,643,080	4,381,871,595	-10,023,514,675	
基本財産売却損益	0	-7,015,925	+7,015,925	
当期指定正味財産増減額	-5,641,643,080	4,374,855,670	-10,016,498,750	
指定正味財産期首残高	19,259,282,035	14,884,426,365	+4,374,855,670	
指定正味財産期末残高	13,617,638,955	19,259,282,035	-5,641,643,080	
<b>【Ⅲ】正味財産期末残高</b>				
	16,035,092,218	21,876,758,373	-5,841,666,155	

# 平成27年度 経常費用内訳 (1 / 2)

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
<b>■ 事業費</b>				
日本国際賞賞金	100,000,000	100,000,000	+0	
顕彰品費	4,379,096	7,040,704	-2,661,608	
奨励金	20,000,000	22,000,000	-2,000,000	
式典費	21,754,288	18,972,138	+2,782,150	
祝宴費	14,952,093	11,389,509	+3,562,584	
大道具保管料	0	1,036,800	-1,036,800	
給料手当及び賞与	54,553,532	55,011,645	-458,113	
福利厚生費	9,054,080	8,933,613	+120,467	
退職給付費用	2,949,800	3,293,800	-344,000	
諸謝金	7,371,893	7,341,163	+30,730	
旅費交通費	10,810,202	10,400,846	+409,356	
受賞者招聘旅費	8,353,088	1,876,054	+6,477,034	
滞在費	5,717,157	4,383,950	+1,333,207	
什器備品費	772,146	778,545	-6,399	
広報費	46,588,156	43,032,988	+3,555,168	
消耗品費	1,864,097	1,281,658	+582,439	
印刷製本費	1,895,458	2,331,591	-436,133	
通信運搬費	1,222,768	1,318,103	-95,335	
光熱水料費	251,422	270,824	-19,402	
借料及び損料	22,738,926	21,813,366	+925,560	
会議費	6,593,463	4,171,368	+2,422,095	
通訳料	483,842	1,219,106	-735,264	
雑役務費	16,158,169	16,202,882	-44,713	
調査委託費	12,069,288	13,107,908	-1,038,620	
雑費	849,131	1,577,066	-727,935	
建物付属設備減価償却費	368,105	368,105	+0	
什器備品減価償却費	564,844	292,297	+272,547	
ソフトウェア減価償却費	340,764	912,591	-571,827	
<b>事業費合計</b>	<b>372,655,808</b>	<b>360,358,620</b>	<b>+12,297,188</b>	

# 平成27年度 経常費用内訳 (2/2)

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
<b>■ 管理費</b>				
給与手当及び賞与	8,880,807	8,955,384	-74,577	
福利厚生費	1,473,920	1,454,308	+19,612	
退職給付費用	480,200	536,200	-56,000	
諸謝金	3,032,430	3,308,395	-275,965	
旅費交通費	560,043	1,117,552	-557,509	
什器備品費	205,254	206,955	-1,701	
消耗品費	145,798	735,090	-589,292	
印刷製本費	87,270	92,631	-5,361	
通信運搬費	224,538	320,019	-95,481	
光熱水料費	66,833	71,991	-5,158	
借料及び損料	4,735,161	4,576,925	+158,236	
会議費	447,601	345,063	+102,538	
雑役務費	674,700	580,052	+94,648	
雑費	113,970	266,128	-152,158	
建物付属設備減価償却費	97,850	97,850	+0	
什器備品減価償却費	150,148	77,699	+72,449	
ソフトウェア減価償却費	90,582	242,587	-152,005	
管理費合計	<b>21,467,105</b>	<b>22,984,829</b>	<b>-1,517,724</b>	
経常費用合計	<b>394,122,913</b>	<b>383,343,449</b>	<b>+10,779,464</b>	

# 平成27年度 正味財産増減計算書内訳表 (1/2)

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計					法人会計	合計
	公1 顕彰事業	公2 助成事業	公3 啓発事業	公益事業共通	小計		
<b>【I】一般正味財産増減の部</b>							
<b>(1) 経常増減の部</b>							
基本財産受取利息	0	0	0	68,159,422	68,159,422	12,982,746	81,142,168
基本財産受取配当金	0	0	0	176,400,000	176,400,000	33,600,000	210,000,000
基本財産運用益	0	0	0	244,559,422	244,559,422	46,582,746	291,142,168
特定資産受取利息	63,306,831	0	0	0	63,306,831	0	63,306,831
特定資産運用益	63,306,831	0	0	0	63,306,831	0	63,306,831
受取寄附金	2,200,000	0	0	24,103,027	26,303,027	0	26,303,027
流動資産受取利息	0	0	0	21,308	21,308	0	21,308
その他収益	0	0	0	3,704	3,704	0	3,704
雑収益	0	0	0	25,012	25,012	0	25,012
経常収益計	<b>65,506,831</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>268,687,461</b>	<b>334,194,292</b>	<b>46,582,746</b>	<b>380,777,038</b>
日本国際賞賞金	100,000,000				100,000,000		100,000,000
顕彰品費	4,379,096				4,379,096		4,379,096
奨励金		20,000,000			20,000,000		20,000,000
式典費	21,754,288				21,754,288		21,754,288
祝宴費	14,952,093				14,952,093		14,952,093
大道具保管料					0		0
給料手当及び賞与	45,672,726	4,440,403	4,440,403		54,553,532		54,553,532
福利厚生費	7,580,160	736,960	736,960		9,054,080		9,054,080
退職給付費用	2,469,600	240,100	240,100		2,949,800		2,949,800
諸謝金	6,000,218	425,030	946,645		7,371,893		7,371,893
旅費交通費	8,074,481	671,665	2,064,056		10,810,202		10,810,202
受賞者招聘旅費	8,353,088				8,353,088		8,353,088
滞在費	5,717,157				5,717,157		5,717,157
什器備品費	635,310	58,644	78,192		772,146		772,146
広報費	46,201,145		387,011		46,588,156		46,588,156
消耗品費	1,759,875	48,680	55,542		1,864,097		1,864,097
印刷製本費	1,762,074	69,538	63,846		1,895,458		1,895,458
通信運搬費	952,197	61,637	208,934		1,222,768		1,222,768
光熱水料費	206,867	19,095	25,460		251,422		251,422
借料及び損料	19,303,713	1,765,880	1,669,333		22,738,926		22,738,926
会議費	6,439,771	54,230	99,462		6,593,463		6,593,463
通訳料	483,842				483,842		483,842
雑役務費	15,272,453	146,364	739,352		16,158,169		16,158,169
調査委託費	11,037,728	1,031,560			12,069,288		12,069,288
雑費	162,304	1,648	685,179		849,131		849,131
建物付属設備減価償却費	302,872	27,957	37,276		368,105		368,105
什器備品減価償却費	464,746	42,899	57,199		564,844		564,844
ソフトウェア減価償却費	280,377	25,880	34,507		340,764		340,764
事業費	<b>330,218,181</b>	<b>29,868,170</b>	<b>12,569,457</b>	<b>0</b>	<b>372,655,808</b>	<b>0</b>	<b>372,655,808</b>

# 平成27年度 正味財産増減計算書内訳表 (2/2)

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計					法人会計	合計
	公1 顕彰事業	公2 助成事業	公3 啓発事業	公益事業共通	小計		

## 【I】一般正味財産増減の部 (続き)

### (1) 経常増減の部

給料手当及び賞与					0	8,880,807	8,880,807
福利厚生費					0	1,473,920	1,473,920
退職給付費用					0	480,200	480,200
諸謝金					0	3,032,430	3,032,430
旅費交通費					0	560,043	560,043
什器備品費					0	205,254	205,254
消耗品費					0	145,798	145,798
印刷製本費					0	87,270	87,270
通信運搬費					0	224,538	224,538
光熱水料費					0	66,833	66,833
借料及び損料					0	4,735,161	4,735,161
会議費					0	447,601	447,601
雑役務費					0	674,700	674,700
雑費					0	113,970	113,970
建物付属設備減価償却費					0	97,850	97,850
什器備品減価償却費					0	150,148	150,148
ソフトウェア減価償却費					0	90,582	90,582
管理費	0	0	0	0	0	21,467,105	21,467,105
経常費用計	330,218,181	29,868,170	12,569,457	0	372,655,808	21,467,105	394,122,913
評価損益等調整前当期経常増減額	-264,711,350	-29,868,170	-12,569,457	268,687,461	-38,461,516	25,115,641	-13,345,875
基本財産評価損益				-16,144,200	-16,144,200		-16,144,200
特定資産評価損益				-171,033,000	-171,033,000		-171,033,000
基本財産売却損益					0		0
特定資産売却損益	500,000				500,000		500,000
評価損益等計	500,000	0	0	-187,177,200	-186,677,200	0	-186,677,200
当期経常増減額	-264,211,350	-29,868,170	-12,569,457	81,510,261	-225,138,716	25,115,641	-200,023,075

### (2) 経常外増減の部

経常外収益計					0		0
固定資産除却損					0		0
経常外費用計	0	0	0	0	0		0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-264,211,350	-29,868,170	-12,569,457	81,510,261	-225,138,716	25,115,641	-200,023,075
一般正味財産期首残高	-877,841,513	-116,950,755	-48,687,646	3,556,852,738	2,513,372,824	104,103,514	2,617,476,338
一般正味財産期末残高	-1,142,052,863	-146,818,925	-61,257,103	3,638,362,999	2,288,234,108	129,219,155	2,417,453,263

## 【II】指定正味財産増減の部

基本財産評価損益				-5,641,643,080	-5,641,643,080		-5,641,643,080
基本財産売却損益					0		0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	-5,641,643,080	-5,641,643,080	0	-5,641,643,080
指定正味財産期首残高				19,259,282,035	19,259,282,035		19,259,282,035
指定正味財産期末残高	0	0	0	13,617,638,955	13,617,638,955	0	13,617,638,955

Ⅲ. 正味財産期末残高	-1,142,052,863	-146,818,925	-61,257,103	17,256,001,954	15,905,873,063	129,219,155	16,035,092,218
-------------	----------------	--------------	-------------	----------------	----------------	-------------	----------------

【備考】基本財産及び特定資産運用益の配分、及び共通費用の配賦基準

基本財産運用益	-	-	-	84%	84%	16%	100%
賞金基金運用益	100%	-	-	-	100%	-	100%
人件費関係費用	72%	7%	7%	-	86%	14%	100%
その他共通費用	65%	6%	8%	-	79%	21%	100%

# 財務諸表に対する注記（1 / 3）

（平成27年度決算及び決算報告書に関する注記）

## 1. 重要な会計方針

### （1）有価証券の評価基準及び評価方法

その他の有価証券

- ・ 期末の市場価額に基づく時価法により評価しています。
- ・ 市場価額のない物については、合理的に算定された価額に基づく時価法により評価しています。

### （2）固定資産の減価償却の方法

- ・ 平成23年度以前取得の有形固定資産 定率法
- ・ 平成24年度以後取得の有形固定資産 定額法
- ・ 無形固定資産 定額法

### （3）引当金の計上基準

#### i. 退職給付引当金

- ・ 職員に対する退職給付金の支給に備えるため、退職金規程に基づく期末要支給額を引当金計上しています。

#### ii. 賞与引当金

- ・ 期末時点における職員の給与実績と当年度の賞与支給実績率に基づき、翌年度の賞与支給見込額を算出し、そのうち当期に帰属する額を引当金計上しています。

### （4）消費税等の会計処理

- ・ 消費税等は、税込方式により会計処理を行っています。

# 財務諸表に対する注記（2／3）

（平成27年度決算及び決算報告書に関する注記）

## 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

・基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりです。

（単位：円）

科 目		前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産	普通預金	16,895,037	3,419	3,419	16,895,037
	定期預金	100,000,000	0	0	100,000,000
	債券（その他の債券）	3,205,757,810	65,106,920	16,144,200	3,254,720,530
	株式	16,558,500,000	0	5,706,750,000	10,851,750,000
	有価証券計	19,764,257,810	65,106,920	5,722,894,200	14,106,470,530
基本財産小計		<b>19,881,152,847</b>	<b>65,110,339</b>	<b>5,722,897,619</b>	<b>14,223,365,567</b>
特定資産	普通預金	405,673,000	5,317	400,005,317	5,673,000
	有価証券（債券）	1,492,980,000	900,000,000	670,533,000	1,722,447,000
	賞金基金計	1,898,653,000	900,005,317	1,070,538,317	1,728,120,000
	退職引当資産	59,733,680	3,430,000	0	63,163,680
		<b>1,958,386,680</b>	<b>903,435,317</b>	<b>1,070,538,317</b>	<b>1,791,283,680</b>
基本財産・特定資産合計		<b>21,839,539,527</b>	<b>968,545,656</b>	<b>6,793,435,936</b>	<b>16,014,649,247</b>

## 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

・基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりです。

（単位：円）

科 目		当期末残高	指定正味財産 からの充当額	一般正味財産 からの充当額	負債に対応する額
基本財産	普通預金	16,895,037	11,821,625	5,073,412	0
	定期預金	100,000,000	80,000,000	20,000,000	0
	債券（その他の債券）	3,254,720,530	2,674,067,330	580,653,200	0
	株式	10,851,750,000	10,851,750,000	0	0
	有価証券計	14,106,470,530	13,525,817,330	580,653,200	0
基本財産小計		<b>14,223,365,567</b>	<b>13,617,638,955</b>	<b>605,726,612</b>	<b>0</b>
特定資産	普通預金	5,673,000	0	5,673,000	0
	有価証券（債券）	1,722,447,000	0	1,722,447,000	0
	賞金基金計	1,728,120,000	0	1,728,120,000	0
	退職引当資産	63,163,680	0	0	63,163,680
特定資産小計		<b>1,791,283,680</b>	<b>0</b>	<b>1,728,120,000</b>	<b>63,163,680</b>
基本財産・特定資産合計		<b>16,014,649,247</b>	<b>13,617,638,955</b>	<b>2,333,846,612</b>	<b>63,163,680</b>



# 財務諸表に対する注記（3／3）

（平成27年度決算及び決算報告書に関する注記）

## 4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

・固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりです。

（単位：円）

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物付属設備	6,954,579	1,669,670	5,284,909
什器備品	4,511,683	3,562,366	949,317
固定資産合計	<b>11,466,262</b>	<b>5,232,036</b>	<b>6,234,226</b>

## 5. 引当金の明細

・引当金の明細は、次のとおりです。

（単位：円）

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
退職給付引当金	59,733,680	3,430,000	0	63,163,680
賞与引当金	5,239,000	5,340,000	5,239,000	5,340,000
引当金合計	<b>64,972,680</b>	<b>8,770,000</b>	<b>5,239,000</b>	<b>68,503,680</b>

# 附属明細書

(平成27年度決算及び決算報告書に関する附属明細書)

## 1. 基本財産及び特定資産の明細

- ・財務諸表の注記に記載しているため、内容の記載を省略します。

## 2. 引当金の明細

- ・財務諸表の注記に記載しているため、内容の記載を省略します。

# 平成27年度 財産目録

(平成28年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	場所・物量等	使用目的等	金 額
-----	--------	-------	-----

## 【Ⅰ】資産の部

現金預金		運転資金	170,996,605
現金	現金手持有高		248,270
普通預金	住友信託銀行東京営業部		71,724,078
	三井住友銀行新橋支店		99,024,257
前払金	東京国際フォーラム授賞式使用料	事業活動に伴う短期債権	1,268,000
	受賞者招聘旅費		1,945,334
流動資産合計			<b>174,209,939</b>
普通預金	住友信託銀行東京営業部		16,895,037
定期預金	住友信託銀行東京営業部		100,000,000
有価証券		公益目的保有財産 運用益の内、84%を公益 目的事業の財源とし、 16%を法人会計の管理 費用の財源としています	14,106,470,530
債券	公共債 7 銘柄		462,647,230
	事業債 3 銘柄		445,049,100
	円建外債及びびゅう円債 1 2 銘柄		2,347,024,200
株式	ハナソニック株式会社株式10,500,000株		10,851,750,000
基本財産合計			<b>14,223,365,567</b>
賞金基金普通預金	住友信託銀行東京営業部		5,673,000
賞金基金有価証券		公益目的保有財産 運用益の全てを顕彰事 業の財源としています	1,722,447,000
債券	公共債 0 銘柄		0
	事業債 0 銘柄		0
	円建外債及びびゅう円債 1 0 銘柄		1,722,447,000
退職給付引当資産	住友信託銀行東京営業部	負債に対応する資産	63,163,680
特定資産合計			<b>1,791,283,680</b>
建物付属設備	間仕切他 計 6 点	公益目的保有財産	5,284,909
什器備品	応接セット他 計 1 3 点		949,317
ソフトウェア	データソフト他 計 4 点		688,048
電話加入権	電話回線 5 回線		459,300
敷金	賃借事務所敷金		16,179,340
その他固定資産合計			<b>23,560,914</b>
固定資産合計			<b>16,038,210,161</b>
資産合計			<b>16,212,420,100</b>

## 【Ⅱ】負債の部

未払金	日本国際賞賞金	事業活動に伴う短期債務	100,000,000
	社会保険料財団負担分他、計35件		7,771,221
預り金	源泉所得税預り分	事業活動に伴う短期債務	186,870
	健康保険料預り分		239,455
	厚生年金保険料預り分		367,256
	市区町村民税預り分		259,400
賞与引当金	夏季賞与(翌期支給見込のうち当期帰属分)	事業活動に伴う短期債務	5,340,000
流動負債合計			<b>114,164,202</b>
退職給付引当金	職員の退職時要支給見込額	事業活動に伴う固定負債	63,163,680
固定負債合計			<b>63,163,680</b>
負債合計			<b>177,327,882</b>

## 【Ⅲ】正味財産の部

正味財産合計			<b>16,035,092,218</b>
負債及び正味財産合計			<b>16,212,420,100</b>